

柏崎市における地域公共交通活性化・再生総合事業(調査事業)

地域公共交通総合連携計画策定調査の必要性

当市の地域公共交通整備の基本方針にのっとり、幹線交通と支線交通を分離したうえで、支線エリアにおいては各地域の実情に見合った支線交通を導入し、都市機能が集中する中心市街地においては市民全体が利用できる循環バスを整備する。また支線と中心市街地とは、路線バスや鉄道といった幹線交通により接続することで、地域全体の公共交通のネットワーク化を図る。

柏崎市地域公共交通活性化協議会

柏崎市、越後交通(株)、越後柏崎観光バス(株)、柏崎市ハイヤー協会、東日本旅客鉄道株式会社新潟支社、学識経験者、新潟県柏崎警察署、道路管理者、北陸信越運輸局、北陸信越運輸局新潟運輸所局、柏崎商工会議所、柏崎市社会福祉協議会、各地区利用者代表ほか

総合連携計画策定調査実施計画の概要

マイカー利用の増大、人口減少などの社会情勢変化によって、地域全体の公共交通の維持・確保が喫緊の課題となっている。また、合併地域である高柳町地域では、高齢化・過疎化のため市内でもっとも公共交通の維持が困難な地区となっており、西山町地域では、福祉バスに関して、鉄道や広域バス路線との接続の改善、効率的な運行形態の確立、無料運行についての他地区との不均衡解消などが課題となっている。このほか、旧柏崎地域においても公共交通空白地区・不便地区が存在しており、これらの解消も課題となっている。

以上の課題を踏まえて、当市の公共交通整備の基本方針である幹線交通と支線交通に分離して地域の公共交通全体を維持するネットワークシステムの確立をめざし、平成20年度においては以下の調査を実施し、柏崎市地域公共交通総合連携計画を策定する。

① 第2市街地循環バス関連調査

- ・ 試行実験による利用者ニーズ把握調査
- ・ 沿線企業等からの協賛金制度導入に関する調査

② 高柳町地域における公共交通再編関連調査

- ・ 関係団体とのグループインタビューほか

③ 西山町地域における公共交通再編関連調査

- ・ 関係団体とのグループインタビューほか

④ 夜間乗合タクシー関連調査

- ・ 関係団体とのグループインタビュー
- ・ 沿線企業等からの協賛金制度導入に関する調査

⑤ その他(上記のほか必要な調査)

幹線交通と支線交通に分離して地域の公共交通全体を維持するネットワークシステムの確立

